

平成28年度第6回太田地域協議会会議録

平成29年3月22日

太田地域協議会

平成28年度第6回太田地域協議会会議録目次

■開催日時	1
■開催場所	1
■出席委員	1
■欠席委員	1
■出席職員	1
■次第	1
■開会	2
■会長あいさつ	2
■支所長あいさつ	2
■会議録署名委員の指名	2
■協議	2
(1) 平成28年度地域枠予算執行事業について	2
■報告	9
(1) 平成29年度太田支所主要事業について	9
(2) 太田地域協議会委員（第4期）について	13
(3) 平成29年度大仙市地域協議会委員研修会について	13
■その他	13
■閉会	14
■署名	15

平成28年度 第6回太田地域協議会 会議録

■日 時：平成29年3月22日（水） 午後1時30分

■会 場：太田支所 2階 会議室

■出席委員：10名

伊藤 勝良、大信田 孝文、柏谷 良雄、鈴木 栄子、
高橋 清一郎、高橋 文子、冨木 勇、川原 猪利、
小柳 真理子、水谷 英明

■欠席委員：5名

石崎 尚、高貝 恵子、小松 泉、高橋 洋、
根本 昇

■出席職員：8名

安達 成年（太田支所長）	谷口 藤美（市民サービス課長）
加藤 栄子（市民サービス課参事）	煤賀 義博（農林建設課長）
煤賀 康典（太田公民館長）	黒澤 伸朗（農業振興情報センター主幹）
藤澤 寿史（地域活性化推進室主幹）	菅原 直久（地域活性化推進室副主幹）

■次 第：

- 1 開 会
 - 2 会長あいさつ
 - 3 支所長あいさつ
 - 4 会議録署名委員の指名
 - 5 協 議
 - (1) 平成28年度地域予算執行事業について
 - 6 報 告
 - (1) 平成29年度太田支所主要事業について
 - (2) 太田地域協議会委員（第4期）について
 - (3) 平成29年度大仙市地域協議会委員研修会について
 - 7 その他
 - 8 閉 会
-

(午後1時30分 開会)

○安達太田支所長（以下「支所長」と表記）

それでは、定刻となりましたので今年度最後の地域協議会を始めさせていただきます。

本日は委員の2分の1以上の出席がございますので、会議は成立していることをご報告いたします。

それから、毎度のことですけれども会議録作成のため発言の際はマイクをお使いくださるようお願いいたします。

会議の進行につきましては、規定によりまして高橋会長をお願いいたします。

○高橋太田地域協議会会長（以下「会長」と表記）

こういうふうに日差しが強くなると、田んぼの方も畔が見えてきます。そうすると、やっぱり慌ただしくなるというか、農家の方は準備しないといけなくなる。そして今の時期、年度末それから新しいスタートのところで大変慌ただしく動いているだろうと。そういう中でお忙しい中にご出席いただきまして、ありがとうございます。今年度最後の地域協議会でございます。皆様のご意見よろしくをお願いいたします。

それでは、ただいまから平成28年度第6回太田地域協議会を開会いたします。

安達支所長よりご挨拶をお願いいたします。

○支所長

あらためまして、本日はお忙しい中お集まりいただきまして、ありがとうございます。今年度、28年度最後の地域協議会となりますけれども、28年度本当に委員の皆さま方には様々な面で地域のことをいろいろご協議いただき、いろいろなお話をしていただきまして、本当にありがとうございます。委員の任期のことで最後の方でありますのであらためてご挨拶させていただきますけれども、今日は地域協議会のあとに研修会もありますので、皆様のご協力での会をスムーズに進めたいと思いますので、なんとかよろしくお願ひしたいと思ひます。以上です。

○会長

それでは、次第の4の「会議録署名委員の指名」をさせていただきます。

会議録の署名委員は、富木勇委員、伊藤勝良委員をお願いいたします。

それでは、次に次第5の「協議」に入らせていただきます。

「平成28年度地域枠予算執行事業」について、事務局から説明をお願いいたします。

○事務局（地域活性化推進室）

【地域枠予算活用事業実績報告及び平成28年度地域枠予算執行事業について、配布資料に基づき説明】

・実施類型Ⅰ型

1. 秋田太田奥羽グラウンド・ゴルフ場樹木プレート作成事業

事業目的：毎年東北及び全国規模の大会が開催されているが、来場者との会話の中でグラウンド・ゴルフ場内に植栽されている樹木名を聞かれることが度々あることから、樹木プレートを作成・表示して情報提供と観光及び緑化推進のPRを図るもの。

申請団体：太田公民館

申請額：295,680円（委託料）

2. 太田地域観光誘導看板改修事業

事業目的：太田地域内に設置している市管理の観光誘導看板だが、設置から10年以上経過し、経年劣化による損傷や錆びつきが進んでいる。太田地域を訪れる観光客の利便性や知名度の向上、イメージアップを図るため、看板の改修を行うもの。

申請団体：太田支所市民サービス課

申請額：471,420円（委託料）

3. 太田地域まちづくり講演会開催事業

事業目的：住民が自分たちの住む地域に誇りと責任を持ち、地域住民が主役のまちづくりを進めるため、太田地域に縁のある方を講師に招き、まちづくりの先進事例を学ぶとともに、今後の太田地域の発展の一助とすることを目的に講演会を開催するもの。

申請団体：太田支所地域活性化推進室

申請額：57,105円（報償費、消耗品費）

○会長

ただいま、平成28年度地域枠予算執行事業の概要について、事務局の方から説明がありました。それでは、皆さんからご質問・ご意見を伺いたいと思います、よろしく願います。はい、大信田委員。

○大信田孝文委員（以下「大信田委員」と表記）

実績報告書の中で据置型ピザ窯の事業ですけれども、前に申請があったときに、例えばスキー場の階段の下とか云々と、いろんなことで議論が交わされたわけですけれども、私も全然スキー場に行っていないんですけれども、その部分でいろんな防火対策的な部分とか、いろんな議論の中で事業がスタートしたと思いますけれども、その辺やっぱりこの前のおりの場所であったのかどうか、ちょっと私現地に行っていないのでその状況が分かれば教えていただきたいと思います。

○支所長

大信田委員の質問にお答えいたします。前は階段の下というふうな話が最初で、「そこか？」ということになりましたけれども、よくよくスキー場の方とも、それから周りの方からもお話いただいた部分でロッジの一番南端の角といたしますか、ちょうど雨の当たらない部分の一番手前の柱の部分の北側のところへ設置させていただきました。吹雪もあるので周りは若干パネルで囲ませていただきましたけれども、春になるとまずパネルは幾分かは取れるかなとは思いますが、その部分が一番安全で目立って人の出入りの邪魔にもならないということで設置させていただきました。是非とも、今度の黄桜まつりのときにも威力を発揮しますので、是非ともおいでくださいませと思います。

○会長

他にございませんか。はい、高橋委員。

○高橋文子委員

グラウンド・ゴルフ場の樹木プレートのことなんですけれども、今大仙市の方でもバスで来た場合とかに日本語のあとに英語でもお知らせするというのを聞きました。このプレートなんですけれども、せっかく今作るんですから英語表記もきっちり入れた方がいいと思うんですけれども、どうでしょうか。

○支所長

高橋委員のご質問にお答えいたします。そのとおりだと思いますし、先ほどこの調査を委託している倉田陽一さん、文化財保護審議委員もやっていますけれども、やっぱり昔のような表記ではなくて二重といたしますか、そういうふうな提言もされておりますので、それを参考にさせていただいてやりたいと思いますので、なんとかよろしくお願いします。

○会長

貴重な意見ありがとうございます。他にございませんか。

○水谷英明委員（以下「水谷委員」と表記）

据置型ピザ窯なんですけれども、これの使用者というか、使用できる範囲というのはあったのでしょうか。行事のときだけでしたでしょうか。

○支所長

お答えいたします。地域枠予算で作ってございますし、限定ということでやったわけはありませんので。ただ、据え置きですのでその場所へ行かないとできないので、何かそこでイベントを開きたいというふうなことであればどうぞお貸ししますのでお使いいただければと思います。使用料はいただきませんので。

○会長

他にございませんか。富木委員。

○富木勇委員

資料4のところなんですけれども、講師謝礼で5万5,105円とありますけれども、この105円とかというのは普通であれば1万円とか2万円とかきっちりとしたものなんですけれども、これはどういうあれなんでしょうか。ちょっとお聞きしたいと思います。

○支所長

富木委員の質問にお答えいたします。これは税金分も入って、源泉分もプラスアルファで払って手取りは変わらないという、そういうふうな手法をさせていただいておりますので、端数を付けてございます。

○会長

他にございませんか。はい、大信田委員。

○大信田委員

看板の改修事業というふうなことで、47万と結構金額が張っている事業ですけれども、例えば既存のやつとの違いは、反射とかそういうのは前からずっと同じ感覚で作られた看板なのかということと、耐用年数的な部分が分かれば教えていただきたいと思います。

○谷口市民サービス課長（以下「谷口課長」と表記）

ちょっとこの白黒のコピーを見ていただければ分かると思いますけれども、これは平成16年の設置で12、3年でこれくらいもう劣化してしまっています。この当時のものとしては多分こういった状態のようです。今はかなり素材が良くて、耐用年数となればまず20年以上はもつような内容のようです。

参考までに前までは上のところだけを直してきて、下の方の例えば「大台スキー場」とか「横沢公園」とかといった部分はあとでまとめてということでしたんですけれども、この部分が一番大きく道路が変わっています。平成16年当時はここが奥羽山荘なり野球場なりへ誘導するメイン道路ではなくて、その当時は高橋会長の会社のところから細い道路を歩いて行くような誘導だったんですよ。実はあそこのところにも高橋宗幸さんというお宅の土地を借りて同じような看板が立っています。ただ、今ちょっとそれが用をなさないというか、あってもいいんですけれども今でそこを誘導道路として使っていない関係がありますので、そこをこれからどうするかということを考えていことと、実はこれは本当からいけばコンビニがあるところの大きな交差点のすぐ角とかにあれば非常に都合がいいなということで私思ったんですよ。というのは、交差点よりも六郷よりの方にある関係で、六郷の方から来た場合は野球場へ曲がってくださいとか、ただ運転席の反対方向には付いているんですけれども、今度角館の方から来たときに野球場には戻って曲がってください

というような格好になってしまっ。ということで移設も含めて考えたらやはりバックホーを持ってきて掘り返して運んで、僅かの距離、50m、100m足らずの距離なんですけれども移設経費だけで数十万円かかりました。かといって、まるっきりこれを取っ払って新しく作るとすればやっぱり百何万円かかるということで、まず今回はこの下の方の案内表示も抱き合わせで直させていただきたいなど。今までは上の方だけ取り換えてきた関係で2基ずつやれたんですけれども、ここを全面的に直す関係でまず1基しかできないような格好です。やっぱりここ十数年で太田の道路事情も結構大きく変わってきていますし、今また角六線が拡幅とかなってくれば、これから大きなことはないと思いますけれどもいろんな変更点が出てくるのかなという感じがしております。あと残っているところは、先ほど言った高橋会長の会社から東に上っていくところと高花のところと、あと東小学校から真木への方向かな、そこら辺まだ残っているんですけれども、そういったことで皆さんにご理解いただきたいと思います。この支柱なんか見ますと、当時は県の事業を活用して立てたんですけれども足の部分は今の交通標識と同じ材質を使っているそうです。となれば結構高いらしいですよ。普通の鉄の支柱だと10年もすればかなり錆びてボロボロになってくるということでしたので、ということで同じレベルのものを今一から作るとなれば百数十万、基礎を打って材質もいいものを使ってとなればそれくらいかかりましたので、気持ち的には場所を移設して付け替えたいところはあったんですけれども、予算の範囲内ということでそこで妥協して今回皆さんからご承認いただきたいというふうに思います。よろしくお願いたします。

○会長

他にございませんか。柏谷委員。

○柏谷良雄委員

今回の協議会には特別あれなんですけれども、報告事項の中の紙風船の中にふれあい交流館の使用料ということで挙がっていますけれども、これは使用料なんですか。というのは、市の行事、町の行事ということであればそこは無料だったんじゃないかなと思ったんですけれども、そこは違うんですか。

○支所長

お答えいたします。実は実行委員会なんですよ、主催が。それで当然使用料は払うんですけれども、これは市の課題なんですけれども、事故が起きたときに補償がないんですよ。市でやっていけば市の保険を使ってやるんですけれども、次からはその辺も含めてちょっと見直しをかけないといけないなというのがございまして。ただ、いずれ普通の団体扱いというふうなことでとりあえず使用料はお支払いするというので。

○会長

他にございませんか。鈴木委員。

○鈴木栄子委員

別の話ですけれども、ちょっと聞きたくてでしたけれども、広報に保健センターの改修、使用料とかいろいろ載ったチラシが入ってしまして、あの使用料の金額ってあれもやっぱりそういうふうな設定された何か、委員会とか何かで決めた金額ですか。

○支所長

お答え申し上げます。これとはちょっと違う話だと思いますけれども、地域のそれぞれの施設のやつを調べまして、面積で按分して、その面積で保健センター、今まで保健センターというふうな使われ方だけしかしておりませんでしたけれども、前にもお話ししましたけれども4月からはもっと地域に開放しようというふうなことで、地域のコミュニティ的使い方をするというので、どなたにもお貸しするよと、町内の方。とりあえず市の財産ですので使用に当たっては当然条例を作らなければいけないし、当然どの施設も使用料というものがございますので、それも全部の施設を調べて面積按分して今の保健センターのそれぞれの部屋に按分したのを掛ければあの料金になるというので。ただし、当然条例の中にコミュニティ的使われ方、地域の方々が使う分については減免いたしますという条文もありますので、普通に使っていただく分には料金は発生しないということになりますので、チラシに書いてあるとおりに地域活性化推進室にお申し込みいただければあの時間帯でお貸しできますので、どうぞお使いいただきたいと思います。ちなみに文化プラザも公民館もそれぞれ料金表はございます。

○大信田委員

それと関連してもよろしいですか。公共施設の使用料というふうなことで、2月の末に元々包括がやっていた、今もあるんですけれども介護予防のいきいき隊のサポーターの集まりがあった中で、いわゆる介護予防のいろんな運動とかしたりしてサポーターがボランティアでやっている部分ですけれども、ある地域で会場料を請求されたと。それで、ボランティア活動をしていて、しかも公共施設を利用してそういう利用料金を請求されて、どこから金をだしたらいいか、利用している高齢者の方々からいくらかずつ集めてやるのか？みたいな形で、ちょっと議論というか話題になった部分があつて。これはやっぱりおかしいんじゃないの？というふうなことになって、逸見所長さんの方にもちょっと一言申し上げたんです。そういうふうなことがあつて、これからいろんな総合事業の中でいろんな形で公共施設を利用した催しが頻繁に出てくると思います。そういう中で、利用料を請求されるようなことがあつてはボランティア活動をしている身としてはちょっと憤慨する部分があつて。それは大仙市全体的な部分の方針の中でそこをちゃんと取り決めて、統一した形の中で考えてほしいなという要望です。

○支所長

了解いたしました。というか、どこの施設だったんだろうなと思うんですけども、大概は公共的使われ方をしていれば、料金表はあるんですけども市長が認めたものとかという規定があって必ず減免になるかとは思いますが。ただ、文化プラザでも普通の会社というか、例えば補聴器売りとか布団売りとか眼鏡売りとかで来て物売りするというやつは、それは普通の商売ですので、地域のことでないのは普通に公民館も文化プラザも料金はいただいております。

○大信田委員

分かりました。どこの地域だったかはちょっと分からなかったけれどもそういう発言があって、おかしいということで周りが騒いだので、後々私逸見所長と会う機会があったときに、こういうことがあってちょっと市として考えてほしいですという、逸見さんに対しての要望もしたんですけども。いずれ今のいきいき隊の部分はずっと継続してやっていますけれども、だんだん包括の職員の人に来なくてもサポーターの人が率先して主導してやっている部分があって、それを市の事業と切り離された考え方で利用料を請求されたような、そういう話しぶりだったんですけども、それはお門違いというか、包括の方でいきいき隊に頑張ってもらえというふうに頼まれてやっている部分もあるのにそういうふうな状況があったという一つの事例だったということで、その辺も加味した運営というか配慮をお願いしたいということです。

○会長

他にございませんか。

(「なし」の声あり)

○会長

ないようです。質疑の方はこれで終了させていただきます。

それでは、皆さんにお諮りいたします。はじめに、「秋田太田奥羽グラウンド・ゴルフ場樹木プレート作成事業」について、地域枠予算事業として承認してよろしいでしょうか。

(「異議なし」の声あり)

○会長

ありがとうございます。承認いただきました。

次に、「太田地域観光誘導看板改修事業」についても地域枠予算事業として承認してよろしいでしょうか。

(「異議なし」の声あり)

○会長

承認いただきました。

次に、「太田地域まちづくり講演会開催事業」について、地域枠予算事業として承認してよろしいでしょうか。

(「異議なし」の声あり)

○会長

ありがとうございます。全て承認いただきました。

地域枠予算執行事業の協議に関しては、これで終わらせていただきます。

次に、次第の6の「報告」に入りたいと思いますが、ここでちょっと休憩させていただきます。

(午後 2時 9分 休憩)

(午後 2時13分 再開)

○会長

それでは、全員揃いましたので審議を再開いたしたいと思います。

次に、次第の6の「報告」に入ります。はじめに、「平成29年度太田支所主要事業」について、各課長・館長から説明をお願いいたします。

○当局

【平成29年度太田支所主要事業について、配布資料に基づき説明】

市民サービス課・農林建設課・太田公民館・農業振興情報センター・地域活性化推進室、それぞれの平成29年度の主な事業の内容や予算について報告するもの。

○会長

ただいま、「平成29年度太田支所主要事業」について説明がございました。

ただいまの内容について、ご質問・ご意見がございましたらお願いいたします。はい、川原委員。

○川原猪利委員

1ページ目、総務の5番のところです。自治会の育成支援事業、集落への補助金ですが、

若干予算が減っておるといことのようにです。これって毎年少しずつ減っていくといことか、もらう方からすれば各集落に入ってくるお金若干少なくなってきたといことでしょうか。

○谷口課長

単価は全く変わっておりませんが、世帯数が減っている関係でその分減っていくと。単価そのものは全く変わっていないです。積算の中で基本割と世帯割とあるんですよ。例えばお年寄りの一人暮らしだった人がいなくなったりとかでやっぱりけっこう世帯数の、増はないんですけども減が微妙にありまして、例えば各集落で1世帯少なくなったとしても太田全体で50世帯とかなってしまいますので、そこら辺の違いです。額面上はちょっと減ってきてはおりますけれども、人口減、世帯減というふうなことで残念ながら。といこと、皆さまからもできれば人口増とか世帯増とかのご協力を願いたいところですよ。

○会長

他にございませんか。はい、小柳委員。

○小柳真理子委員

先ほどの質問と同じページの市民サービス課さんの方の7番目、放課後児童クラブなんですけれども、私ちょっと勉強不足で、学年で大体でいいですけれども、低学年がやっぱり多いんですかね。

○谷口課長

前は小学校3年生までといことでした。ただ、3年ほど前から余裕があれば、受け入れられるだけの余裕があれば6年生までといこと、国の方針が変わっています。今のところ、まず例年だと1年生がやっぱり一番多いです。それが2年生に行って若干やめて、3年生になればけっこうやめます。どうしてかと言えば、マーチングだとかスポ少だとかといこと入っていきますので、そちらの方に移行する関係でガクッと減るんですよ。今度4年生、5年生、6年生となればあと本当に各学年2人とか3人とかといことふうになっています。こちらの方でやめてくださいといっているわけでは決してないんですけども、やっぱり子どもさんたちの活動範囲が広がっていく関係で、そういった形で。今回1年生だけで30人くらい入ったんですけども、今回定員が70人になった関係で定員的にはまだ10人ほど余裕はあります。あとマーチングとかスポ少に入っている練習がないときはお願いしますなんてい方もいらっしゃるし、だからある程度、週に3日来ても5日来ても料金は同じなんですけれども、併用しているような方もいらっしゃるし、様々です。

○会長

他にございませんか。はい、水谷委員。

○水谷委員

ちょっと教えてもらいたいですけれども、熊の対策なんていうのはどういう予算に入るんですか。

○煤賀農林建設課長（以下「煤賀課長」と表記）

有害鳥獣駆除については事業費もあまりついていないので、主な事業には入っていないです。実際予算的には駆除に従事してもらった、鉄砲の免許を持っている人たちに巡回してもらったりとか、そういった形で経費はあります。

○水谷委員

黄桜まつりとか、大台山のキャンプ場っていうのは今使っているかどうか分からないんですけれども、やはりあちら方面を利用するときに熊が怖くて行かないという人がけっこう多く聞かれるんですよ、太田の人ではない人が来たときに。そのときに、出たときに対策するというのも大切ですが、やはり出ないようにする予算をもっと使った方がお客さんが安心して来れるんじゃないのかなと思うんですけれども。例えば他の市町村ってどういうものなんでしょうか、あまりないものなんでしょうか。抱返りとかやっていますけれどもあっちの方だとあまり熊が怖いとかというのは聞かないんですけれども、大台山の方に来ると熊がいっぱい出るような、そういうイメージが何かあって、夜あそこにテント張って泊まるというのも怖いなといった、そういうイメージが出ているような感じがするんですけれども、そういう予防みたいな対策というのは何かあるんでしょうか。

○煤賀課長

予防については、今対策を講じているのは爆竹を鳴らして熊へ教えるといった形で予防は可能です。ですので、もし黄桜まつりのときの朝とか爆竹を持って行って鳴らして予防しておくといったことは可能かと思えます。あと東山の方にだいたい熊が出たというイメージかと思えますけれども、実際28年度に熊を捕獲したのは確か3頭で、協和の方はその十数倍、30何頭、40何頭という数が捕獲されていますので、全国的に去年は熊が多かったと思えますけれども、大仙市の中ではどちらかと言えば協和さんとか向こうの方が多かったといった状況です。

○水谷委員

雫石のあねっこでしたか、あそこら辺にもキャンプ場がありますよね、オートキャンプ場でしたか。あっちの山の奥とか田沢湖にもキャンプ場あるんですけれども、何となく大台山でキャンプやるといって、斉内川でやるのでも何か危ないようなイメージが、子どもたちがやりづらいなといったところがあって。今みたいなことを教えていただければちょっとは安心してできるのかなという気がしますけれども。

○煤賀課長

熊の予防についてはチラシでもお知らせしているとおり、山へ入るときは鈴を付けたり、さっき言った爆竹を鳴らして警戒してくださいということでお知らせはしておりますけれども、もうちょっと周知させるように考えたいと思います。

○会長

他にございませんか。はい、大信田委員。

○大信田委員

市民サービス課の事業の中で4番の雪対策事業というふうなことで、先ほど課長の方から説明を受けましたけれども、過去2年間モデル事業というふうなことで進めてきて、すると今回まず本庁の方からの予算ではなく支所の予算で3組織の助成をやるというようなことですが、するとこれはずっと来年も再来年もという考え方なのか。まず私の認識としては何年間かモデル事業で助成金をいただきながら事業をやって、将来的には町内会とか集落の中で自力で継続していくような方向性というふうに認識していたわけです。そういうふうなことの中で、例えばまず今回モデル事業ではなく支所の方の助成金というふうな考え方でいくと将来、太田で20何自治組織があって、例えば全部の組織がそういう事業をやっていくとなればかなりの予算も必要になっていくのかなど。将来を見据えればやっぱり自力で各自治組織の中でやってもらえる方向性を示すというのはしていかないで、支所の助成金で対応をずっとしていくというふうな考え方なんでしょうか。その辺ちょっと教えてください。

○谷口課長

今時点では2、3年お金を払って、やがては自分たちでやってくれということではなくて、これからますます高齢化になっていくし、空き家なんかも増えていくし、若い人がいなくなって雪をよせてくれる人もいなくなるということです。市の方で若干謝礼を払ってでも何とか各集落で協力して頑張ってよせてくださいという考え方のようです。従いまして、まず今回2年間モデル対策でそれなりの実績があったということの認識で、そうすればこれから本格実施でますますこの事業に取り組んでもらいたいということのようですので、多分将来的に予算を無くすとか、5年やったらあと自分たちでやれということではないというふうに私たちは理解しております。多少市の方で謝礼を払ったとしても何とかその集落の中で協力してやってくださいという考え方がまず一番大きいというふうに思っております。

○会長

他にございませんか。

(「なし」の声あり)

○会長

ないようです。ただいまの報告のとおりといたします。

次に、「太田地域協議会委員（第4期）」について、事務局より説明をお願いいたします。

○事務局（地域活性化推進室）

【太田地域協議会委員（第4期）について、配布資料に基づき説明】

4月1日から3年間の任期で委嘱される第4期太田地域協議会委員について報告。

○会長

ただいま、「太田地域協議会委員（第4期）」について説明がありました。

今回から委員の任期が3年となるわけですが、再任される委員の皆さんには大変ご難儀をかけますがよろしくをお願いします。

次に、「平成29年度大仙市地域協議会委員研修会」について、事務局より説明をお願いいたします。

○事務局（地域活性化推進室）

【平成29年度大仙市地域協議会委員研修会について、配布資料に基づき説明】

4月15日に開催される大仙市地域協議会委員の全体研修会の内容等について報告。

○会長

ただいま、「平成29年度大仙市地域協議会委員研修会」について説明がありました。

年度始めで大変お忙しいと思いますが、再任される委員の皆さんには出席をよろしくお願ひいたします。

以上をもちまして、本日の議題となりました案件の協議の方は全て終了いたしました。

次に、次第の7の「その他」に入ります。委員の皆さんの方から何かございますか。

（「なし」の声あり）

○会長

それでは、事務局の方から何かございますか。

○支所長

それでは、退任される委員の方々にお礼状をお渡ししたいと思っておりますので、私の方で向かいますのでよろしくお願ひしたいと思っております。

本当に2期8年の方、1期4年の方、退任されるの方々、本当にありがとうございました。

この役を離れても地域の応援隊ということで様々な形で地域を応援していただければありがたいと思いますので、今後ともよろしくお願ひしたいと思ひますし、是非とも役所の方にもたくさん足を運んでいただひてお声がかひいただひければ。あなた方あひのときこんな話をしたひやないかとちよつとチクツとやるくらいひの気持ちで是非とも来ていただひたいと思ひます。本当に長い間あひがとうござひました。

【支所長から退任される委員に對し、お礼状を渡す】

○事務局（地域活性化推進室）

申し訳ありませんが、皆様から一言ずついただひければと思ひます。

【退任される委員、一人ずつ挨拶】

○会長

事務局の方から他に何かあひますか。

○事務局（地域活性化推進室）

【太田地域まちづくり講演会について報告】

○会長

本日の地域協議会はこれをもちまして閉会といたします。本当に長い間あひがとうござひました。

（午後 3 時 2 2 分 閉会）

太田地域協議会運営規程第7条第2項の規定によりここに署名する。

会議録署名委員

富 木 勇

伊 藤 勝 良
